

開催日時： 2010 年 7 月 10 日（土）18 時 05 分～20 時 00 分											
開催場所： 東洋大学 5 号館 5 階 5501 教室											
出席者 16 名（現理事 1 名、次期理事（予定）1 名、運営委員 14 名）	欠席者 13 名										
<p><b>検討課題</b></p> <p><b>1. 理事の引き継ぎおよび今年度の関東部会の方針について</b></p> <p>冒頭で現理事より、理事引き継ぎ（翌日の親学会理事会で詳細決定）について以下の説明がなされた。本年 10 月開催予定の学会で新しい理事（日本社会事業大学 大島巖氏）に引き継ぎをする予定である。前理事から引き継いだ時点では、12 月に部会の大会を開いていたために実際はその年の大会までは前期の理事と運営委員会が中心となって実施をしてくださった。現在は 3 月に大会を開催しているので、今期の引き継ぎと新年度の実施体制は、新理事と事前の協議の上で、最終的には新理事の体制に移ってから大会の詳細を決めてもらうことにする。今年度の運営委員は、可能な限り年度末 3 月まで継続してほしい。</p> <p>また、今年度のスケジュールについて、森田理事から以下の説明があった。</p> <table border="0"> <tr> <td>2010 年 3 月</td> <td>新運営委員承認</td> </tr> <tr> <td>4 月</td> <td>各大学で委員交替</td> </tr> <tr> <td>10 月 9～10 日</td> <td>親学会秋季大会</td> </tr> <tr> <td>10 月 10 日</td> <td>総会 * 森田現理事から大島新理事へ引き継ぎ 運営委員会 ニューズレター（年内発行） 大会企画、奨励金の検討</td> </tr> <tr> <td>2011 年 3 月</td> <td>関東部会大会</td> </tr> </table> <p><b>2. 予算執行について</b></p> <p>現理事より、次の説明があった。関東部会残金は 130 万円程度であり、今年度も親学会から 130 万円程配分金がある見通しである。支出について、ホームページの管理・運営に 80 万円程度、ホームページ・大会・ジャーナルの編集で 90 万円程度（ジャーナルは電子化で予算削減できた）、その他の事業に 50 万円程度充当したい。事業の案としては以下のようなことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院生向け研究助成（@10 万円×3 本、3 月の発表と投稿が条件）</li> <li>・ 留学生向けの事業（研究助成等）</li> <li>・ DVD や事典の発行（地域福祉学会が 20 周年を機に実施した）</li> <li>・ シンポジウムや大会に知名度の高い講師を呼ぶ</li> </ul> <p>このほか、査読の謝金も検討したが、親学会が無償にしているので難しいという結論にいたった。会員以外に査読を頼む場合の謝金はあり得るが、費用が発生しないのが原則ということを経意とする。</p> <p>なお、10 月の大会後に運営委員会を開催する。その際、予算執行の原案を現理事が提示する。</p>		2010 年 3 月	新運営委員承認	4 月	各大学で委員交替	10 月 9～10 日	親学会秋季大会	10 月 10 日	総会 * 森田現理事から大島新理事へ引き継ぎ 運営委員会 ニューズレター（年内発行） 大会企画、奨励金の検討	2011 年 3 月	関東部会大会
2010 年 3 月	新運営委員承認										
4 月	各大学で委員交替										
10 月 9～10 日	親学会秋季大会										
10 月 10 日	総会 * 森田現理事から大島新理事へ引き継ぎ 運営委員会 ニューズレター（年内発行） 大会企画、奨励金の検討										
2011 年 3 月	関東部会大会										

### 3. 各委員会報告

#### (1) ホームページ

担当委員より、ホームページ（今年1月から本格的に稼働）の現況について、配布資料に基づいて報告があった。アクセスについて解析したところ、1～2月のアクセスが多い（400～500回）。論文投稿、大会開催が理由と思われる。以後は200回位で推移している。直接入力によるアクセスが最多で、それ以外のアクセスは『社会福祉学評論』などからのリンクによるものである。アクセス数の多いページは、トップページに次いで情報バリアフリー、『社会福祉学評論』、同投稿規定の順であった。電子ジャーナル化したことで、冊子の時よりアクセスが増えたと考えられる。なお、毎月3万円（年間36万円）で業者に管理を委託している。

また、今後の運用については、担当委員からの説明と、それに続く審議があった。大学の行事などについて幅広く掲載したいので、各委員や学会員が関わっている行事などの情報を提供してほしい。掲載可否の判断については、掲載情報を担当委員のところに集約し、判断が問われるものであれば部会長である現理事に確認する。問題が起きた時は発信者の責任とすることとし、「内容について当方で責任を負えない」という旨の文を記しておく。

今後は議事録を公開する（ただし、公開する議事録は個人名を伏せる）。運営委員用の議事録は個人名を載せて別途作成する。

『社会福祉学評論』の原稿をホームページに反映させるシステムの導入や、ニューズレターのメール配信などについても検討したい。

#### (2) ニューズレター

担当委員より、10月総会後の運営委員会を経てニューズレターを12月に発行したいという説明があった。主な内容は大会の企画などになる予定である。査読のあり方については、前回の検討を継続したい。よい論文が集まるように考慮する。

#### (3) 『社会福祉学評論』

担当委員より、次のとおり報告があった。

- ・ 現況報告

次号（10月末投稿〆切）の投稿は現在3本来ており、全て査読に回すこととする。

- ・ 製本について

年度内に発行された論文を1冊に収録し、鏡文と奥付を付けて製本する。購入希望者には実費（6000円程度）で販売できるようにする。今回5～6冊印刷するが、以後も希望があれば常時発行可能にしておく。

また、次のことについて検討がなされた。

- ・ 規定の内容について

現在、2回連続の投稿があるが、連続投稿を規定でどこまで認めるか検討し、連投2回までとすることとする。また、明らかにレベルの低い論文の扱いをどうするかについて、継続的に検討することとする。

- ・ 査読について

これまでは査読をその都度頼んでいたが、今後は査読者リストを作ったほうがよい。また、査読の経過をトップページに公開する（「ただ今審査に入りました」など）。

査読は、理事が査読候補者に直接依頼交渉してきたので、今後も引き継いでもらえるありがたい。

#### (4)大会

現理事より、次のように方針が示された。大会規則についての学会員からの要望をホームページで募集し、運営委員会で審議するようにする。

また、大会が3月の第二土曜日に定着しつつあることが、現理事より確認された(10月には、シンポジウム、ゲストを決めたい。明日開催の親学会理事会の決定に照らして、最終決定したい)。

#### 4. 今後の予定

- ・ 次回運営委員会： 2010年11月13日(土) 午後6時～8時 東洋大学白山校舎 第1会議室(2号館3階)
- ・ 関東部会大会： 2011年3月12日(土)

※運営委員会後、現理事から次期理事(予定)に現在の運営委員会の状況報告があった。

以上